

資料提供	
令和8年1月5日	
担当課 (担当)	市民生活部地域振興課 (河上)
電話	0857-30-8171 (内線 7310)

宝島社『田舎暮らしの本』2026年版第14回住みたい田舎ベストランキング
総合部門で第3位となりました！！

株式会社宝島社が発行する『田舎暮らしの本』1月5日（月）発売の2026年2月号で、「2026年版第14回住みたい田舎ベストランキング」が掲載されています。

本市は人口10万人以上20万人未満の市ランキングの「総合部門」において第3位となりました。また「若者世代・単身者部門」で第3位、「子育て世代部門」で第4位と4部門中3部門で上位入りを果たしました。

記

1 本市のランキング状況

(1) 人口10万人以上20万人未満の市ランキング（回答自治体：44）

総合部門・・・・・・第3位
若者世代・単身者部門・・第3位
子育て世代部門・・・・第4位
シニア世代部門・・・・第13位

(2) エリア別ランキング（中国エリア）（回答自治体：55）

総合部門・・・・・・第2位
若者世代・単身者部門・・第2位
子育て世代部門・・・・第4位
シニア世代部門・・・・第8位

2 評価のポイント

本市は県都として行政機関や総合病院、商業施設が集積され暮らしやすいうこと、また鳥取砂丘をはじめ、美しい日本海や山々があり豊かな自然環境の双方が揃っていること、そして移住前から移住後まで専任の相談員による一貫した相談・サポート体制や幅広い世代を支援する制度が整っていることなどが評価されました。

3 アンケート概要

移住支援策、自然の豊かさ、医療、子育て、就労支援、移住者数などを含む336項目のアンケートを実施し、田舎暮らしの魅力を数値化。今回は547の市町村から回答。人口規模により8グループに分類し、全世代対象の【総合】のほか、【若者世代・単身者】【子育て世代】【シニア世代】の4部門に分けてランキングを発表。

4 その他

【参考】本市の過去5年間の総合部門でのランキング状況（宝島社『田舎暮らしの本』出典）

2021年度版 第9回 第7位

2022年度版 第10回 部門休止

2023年度版 第11回 第8位

2024年度版 第12回 第11位

2025年度版 第13回 第9位

※2021年版以降は大きな市（人口10万人以上）グループでのランキング

※2022年版は総合部門ランキング休止

※2023年版以降は人口10万人以上20万人未満のまちグループでのランキング

『田舎暮らしの本』は、1987年に創刊した“日本で唯一”の田舎暮らし月刊誌です。全国各地の物件情報や仕事情報など、田舎暮らしに必要なハウツーを紹介。実際の移住者レポートを交え、田舎暮らしに役立つ具体的な情報を発信しています。